

- 1 研究主題 個を伸ばし、学び合う集団へと成長させる教育活動の推進  
－ 「問い」と「振り返り」を基盤とした、主体的・協働的・創造的な学びの充実 －

## 2 研究の具体

### (1) 学校にこにこプロジェクト【いじめ防止・早期発見・早期対応】

- ①「なかまキッズ」（学級のなかまづくり推進委員）を核とした学級・学年・学校の絆づくり
  - ・計画的な「キッズ会議」の実施：学年間・異学年間での交流による取り組みの質的向上を図る
  - ・学級の「なかまづくり目標」の作成、全校生での共有、「強めよう絆」月間のテーマや取り組みの計画
- ②子ども理解や個に応じた対応に係る知識・技能の向上
  - ・SC・SSW等、専門機関や福祉機関を交えたケース会の実施
  - ・有識者を講師に招聘しての、不登校やいじめ対応についての教員研修の実施
- ③道徳教育の充実による人間性や社会性の育成
  - ・「親切・思いやり」「友情・信頼」「相互理解・寛容」を重点項目として、全学級共通に道徳の授業実施（保護者公開により啓発）
- ④いじめ予防授業の実施
  - ・「いじめ予防プログラム（トリプルチェンジ）」を教材とした学級活動の授業実施（保護者公開により啓発）

### (2) 学校わくわくプロジェクト【児童にとって魅力ある学校づくり】

- ①委員会や学級・学年単位での「ふれあいイベント」の実施
  - ・各委員会の特色を生かした創造的・協働的なイベントの企画・運営（あいさつ運動・花いっぱい運動・お話し会・レクリエーション等）
  - ・学級や学年の創造的・協働的や取り組みによる全校生対象のイベントの企画・運営（みんなが楽しく、ふれあえる活動 ex. 図工の作品を活用した迷路遊び、「三溪の森」での秋の宝探し等）
  - ・イベントコーナーでの心の交流（主催者と参加者の思いの掲示）：達成感や満足感、感謝による相手意識の高揚
- ②縦割りグループやペア学年を核としたふれあい活動の推進
  - ・ペア学年での「ふれあい運動会（ふれあい種目）」「日山登山」の実施
  - ・縦割りグループでの毎月のふれあい遊びの実施
  - ・縦割りグループでの「1年生を迎える会」「6年生を送る会」の実施
- ③「なかまキッズ」（学級のなかまづくり推進委員）を核とした学級・学年・学校の絆づくり
  - ・計画的な「キッズ会議」の実施：学年間・異学年間での交流による取り組みの質的向上を図る
  - ・代表委員会への参加：「1年生を迎える会」等の児童会活動について、相互尊重に基づく関係構築の視点からの提言

## 3 研究の検証及び改善の手立て

### (1) 検証方法

- ・国・県の学習状況調査 質問紙の結果分析
- ・心のアンケートの結果分析（長期休業明けに実施）
- ・学校教育評価の結果分析（児童・教職員：前期・後期の2回実施）、保護者：学年末のみ実施
- ・学校風土調査の結果分析（4年生以上対象）

### (2) 改善の手立て

- ・成果と課題に基づく次年度の方向性について、教員は現教関係部会で、また、児童は「なかまキッズ」が「キッズ会議」において、それぞれ協議を行い、次年度の取り組みに生かせるようにする。
- ・結果の保護者公表、及び、学級懇談会等を活用した保護者対象のワークショップや講話視聴等により、保護者啓発を行う。
- ・学校運営協議会における結果に基づく協議により、地域連携による課題改善の可能性を探る。